

ドイツ語の扉

責任者名：川尻 竜彰

学期：前期

対象学年：1年

授業形式等：外国語

◆担当教員

川尻 竜彰(外国語(ドイツ語) 兼任講師)

◆一般目標 (GIO)

ドイツ語の発音に慣れ、簡単なあいさつや受け答えができるようになることを目指す。あわせてドイツ(語圏)文化の理解を深めていく。

◆到達目標 (SBO s)

ドイツ語であいさつができる。

ドイツ語で自己紹介ができる。

ドイツ語で簡単な会話ができる。

ドイツの文化を理解し、多様な視点から物事を考えられる。

ドイツの文化を理解し、説明できる。

◆評価方法

各課終了ごとの課題提出(70%)、および小テスト(30%)の総合で評価する。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
川尻 竜彰	水曜日 9:50～10:00 11:50～13:00 14:50～15:00		

◆授業の方法

基本的に2時間に一項目のペースで授業を進めていく。既習の英語と比較しつつわかりやすい解説を心がけるつもりである。最初に文法説明を行い、次週の一時間目に練習問題を解いていく。その際、ドイツ語を音読してもらうので発音も含めて下調べをしておくこと。小テストを2回行い、既習の文法事項の定着を図る。

◆教材(教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	ドイツ語なんてこわくない	西村佑子 / Rudolf Petrik 共編	同学社	
参考書	アポロン独和辞典		同学社	

--	--	--	--	--

◆DP・CP

[DP2] コンピテンス：世界の現状を理解し，説明する力

コンピテンシー：国際社会の現状と背景を理解し，地域社会における医療・保健・福祉の役割が説明できる。

[DP6] コンピテンス：コミュニケーション力

コンピテンシー：医療をはじめとする様々な場面において，他社との円滑な意思の疎通を行い，互いに価値観を共有し，適切なコミュニケーションを実践して自らの考えを発信することができる。

[CP2] 国内外の医療・保健・福祉の現状を理解し，基礎・臨床・社会医学の知識を基に，コク s 大社会で活躍できる基本的能力を育成する。

[CP6] 他者の意見を尊重し，明確な意思疎通のもと，円滑な人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を養成する。

◆準備学習(予習・復習)

添付の CD をよく聞いて発音を確認しておくこと。

◆準備学習時間

授業時間半分相当を充てて予習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

ドイツ語ステップアップ (第 1 学年後期)

◆予定表

予習・復習を欠かさないこと。辞書は常に携帯すること。

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1-2	A	5.13	4 ～ 5	授業概要の説明 1. 発音 (教 1)pp.6-7	・ドイツ語とドイツ (語圏) について理解する。 ・アルファベットの読み方を学ぶ。	川尻 竜彰	
3-4	A	5.20	4 ～ 5	1. 発音 (教 1)pp.8-10	・ローマ字読みできない複母音，英語とは異なる子音に注意しながら，単語の発音を学ぶ。	川尻 竜彰	
5-6	A	5.27	4 ～ 5	2. 動詞の現在人称 変化 (1) (教 1)pp.12-15	・不定詞と定動詞の違いを理解する。 ・規則動詞の現在人称変化を学ぶ。	川尻 竜彰	

7-8	A	6.3	4 ～ 5	3. 定動詞の位置 (教1)p.16	・平叙文と疑問文の作り方を学ぶ。	川尻 竜彰	
9-10	A	6.10	4 ～ 5	「第1回小テスト」 4. 名詞と冠詞 (教1)pp.18-22	・名詞に性別があることを学ぶ。 ・格の概念を理解する。 ・定冠詞と不定冠詞の用法と格変化を学ぶ。	川尻 竜彰	
11-12	A	6.17	4 ～ 5	5. 名詞の複数形 (教1)pp.24-26	・名詞の複数形の種類と格変化を学ぶ。	川尻 竜彰	
13-14	A	6.24	4 ～ 5	6. 定冠詞類 (教1)pp.26-27	・定冠詞類の種類と用法, 格変化を学ぶ。	川尻 竜彰	
15-16	A	7.1	4 ～ 5	7. 人称代名詞 (教1)p.28	・人称代名詞の格変化と, 英語と異なる3人法の用法について学ぶ。	川尻 竜彰	
17-18	A	7.8	4 ～ 5	8. 所有冠詞 (教1)pp.30-33	・所有冠詞の格変化を学ぶ。	川尻 竜彰	
19-20	A	7.15	4 ～ 5	「第2回小テスト」 9. 否定表現 (教1)pp.33-34	・否定冠詞 kein の格変化を学ぶ。 ・nicht と kein の使い分けについて学ぶ。 ・nicht の位置について学ぶ。	川尻 竜彰	
21-22	A	7.22	4 ～ 5	10. 動詞の現在人称 変化(2) (教1)pp.36-39	・現在人称変化で幹母音が変音する動詞について学ぶ。	川尻 竜彰	
23-24	A	7.29	4 ～ 5	11. 従属文 (教1)p.40	・従属文とは何か理解する。 ・従属文を導く従属接続詞について学ぶ。	川尻 竜彰	

25 - 26	A	8.5	4 ~ 5	12. 前置詞 (1) (教1)pp.42-43	・ 2 格支配, 3 格支配の前置詞について学ぶ。	川尻 竜彰	
27 - 28	A	8.12	4 ~ 5	13. 前置詞 (2) (教1)pp.44-45	・ 4 格支配, 3 / 4 格支配の前置詞について学ぶ。	川尻 竜彰	
29 - 30	A	8.19	4 ~ 5	14. 総復習	・ 特に重要な格変化と動詞の位置を中心に復習する。 ・ 定期試験範囲の解説。	川尻 竜彰	

